

KONAMI

2017年度 コナミグループ中間報告書

2017年4月1日～2017年9月30日

コナミホールディングス株式会社

証券コード：9766

株主の皆様へ



株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当社グループを取り巻く国内経済は、長期にわたる景気回復が続き、企業収益、雇用環境は改善に向かっていますが、依然として個人消費は力強さを欠く状況にあります。一方、欧米経済は緩やかな回復傾向を維持する中でも、政治・政策動向の不透明感は払拭されない状況が続いております。

エンタテインメント市場におきましては、モバイル端末や家庭用ゲーム機器などの各種デバイスは高性能化が続き、ゲームコンテンツの多様化も進んでおります。ゲーム業界ではゲームをスポーツ競技として捉えるeスポーツが注目されるなど、コンテンツの新しい楽しみ方が期待されております。

健康市場におきましては、社会全体における健康意識が高まる中で、シニア世代や女性層を中心に、健康や体

力の向上を余暇の目的とする割合が年々上昇する傾向にあり、スポーツ志向、健康志向、そして高齢化に加え、ボディメイクに取り組まれるお客様も着実に増加するとともに、対応商品へのニーズは多様化しております。

ゲーミングビジネスに関しましては、世界各地で新規カジノ施設やカジノを含むIR（統合型リゾート）施設の開業や開発が進み、ゲーミング市場はさらなる成長を続けております。また、若者のスロット離れに対する対策として、スロットマシンへのスキル要素（プレイヤーの腕前）の導入が北米の一部の州で合法化されるなど、今後さらなるゲーミングビジネスのチャンス拡大が期待されております。

アーケードゲーム市場におきましては、法律の一部改正により、青少年に対する入場時間の規制が緩和され、ショッピングセンター内のゲームコーナーで家族連れの利用者が増加し、また業界全体の市場活性化に向けた取り組みが新しいユーザー層の開拓に繋がったことで、市場は回復の兆しが見えております。

このような状況のもと、当社グループは、お客様のニーズに適切に対応してまいりました。世の中の変化をいち早く捉え、今後も皆様のご期待に応えられるようグループ一丸となってチャレンジを続けてまいります。

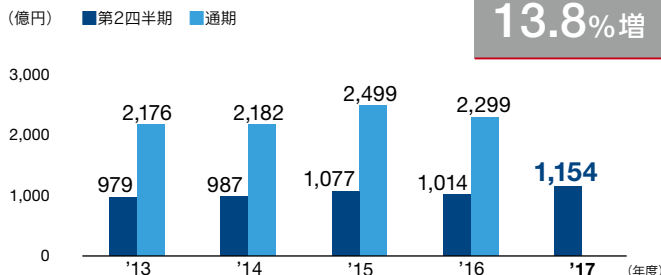
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長
上月 拓也

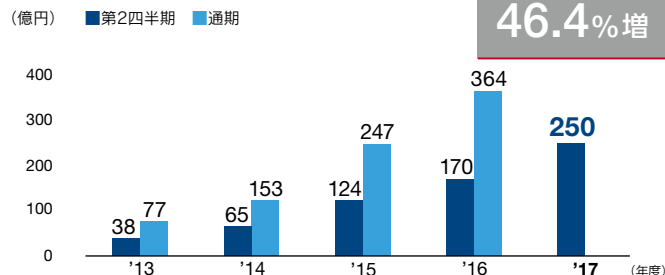
第2四半期連結決算ハイライト

注：2013年度は米国基準、2014年度以降は国際会計基準 (IFRS) に準拠して表示しています。

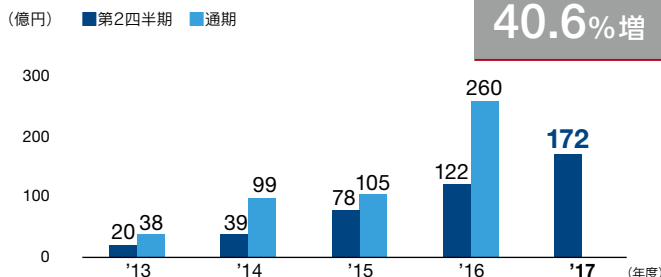
売上高



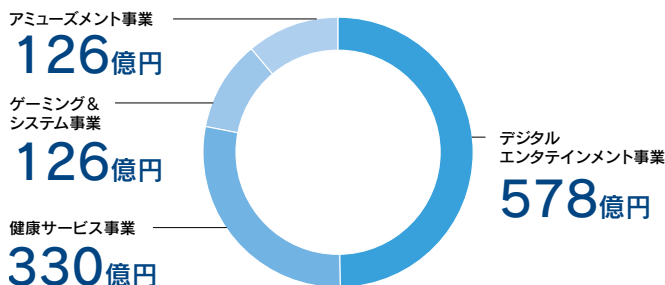
営業利益



親会社の所有者に帰属する四半期利益



セグメント別売上高



当第2四半期連結累計期間の売上高は1,153億5千6百万円(前年同期比13.8%増)、営業利益は249億5千1百万円(前年同期比46.4%増)、税引前四半期利益は248億3千6百万円(前年同期比52.9%増)、親会社の所有者に帰属する四半期利益は171億8千万円(前年同期比40.6%増)となりました。

デジタルエンタテインメント事業におきましては、『実況パワフルプロ野球』、『プロ野球スピリッツA(エース)』、『遊戯王 デュエルリンクス』、『ウイニングイレブン 2017』等のモバイルゲームが引き続き堅調に推移いたしました。カードゲームでは、『遊戯王オフィシャルカードゲーム』をグローバルに展開し、モバイルゲーム『遊戯王 デュエルリンクス』とともに世界選手権を日本で開催いたしました。家庭用ゲームでは、『ウイニングイレブン 2018』を発売し、ご好評をいただいております。

健康サービス事業におきましては、お客様の利用頻度に応じて選択できる料金プランと、定期的に施設に通えないお客様に向けた都度利用プラン

により利用促進を図るとともに、施設環境の整備及びスタジオプログラムやトレーニングマシンの刷新を行うなどサービスの拡充に努めました。

ゲーミング&システム事業におきましては、ビデオスロットマシン「Concerto(コンチェルト)」シリーズの拡充を北米中心に展開したほか、ロングセラー商品「Podium(ポーディウム)」シリーズの販売に注力いたしました。カジノ・マネジメント・システム『SYNKROS』では、北米のカジノ施設に加え、海外を就航する大型クルーズ船内のカジノ施設への導入も引き続き順調に推移いたしました。

アミューズメント事業におきましては、アーケードゲームの『麻雀格闘倶楽部 ハイグレードモデル』や『ノスタルジア FORTE(フォルテ)』が稼働を開始し、安定稼働を続けております。遊技機におきましては、前年度に発売したパチスロ『GI優駿倶楽部』が、新基準の5.5号機の中でもトップクラスの長期安定稼働を維持し、市場からの高い評価を背景とした追加受注により好調に推移いたしました。

より詳細な財務情報については、当社ホームページに掲載している決算短信などをご覧ください。

<https://www.konami.com/ir/ja/ir-data>

トピックス

デジタルエンタテインメント事業



人気シリーズの最新作を多数紹介 「東京ゲームショー2017」に出展

KONAMIは9月に開催された国内最大級のゲームの祭典「東京ゲームショー2017」に出展し、KONAMIを代表するコンテンツを多数紹介しました。

今回は、「ウイニングイレブン」シリーズ最新作『ウイニングイレブン 2018』（海外名『PRO EVOLUTION SOCCER 2018』）や、『METAL GEAR SURVIVE』等のグローバルコンテンツをプレイアブル出展したほか、恋愛コミュニケーションゲーム「ラブプラス」シリーズ最新作となる『ラブプラス EVERY（エブリイ）』のVRパートをいち早く体験していただき、多くのお客様よりご好評をいただきました。

また、『ラブプラス EVERY』は、「東京ゲームショー2017」で発表・展示された作品の中から、来場者投票及び選考委員による審査会を経て、今後が期待される高い評価を得た作品として「日本ゲーム大賞2017 フューチャー部門」を受賞しました。

健康サービス事業



スポーツクラブブランド「エグザス」復活 ～その街に、こころとカラダの快適空間～

コナミスポーツクラブは、かつてスポーツクラブの先駆けとなり、時代を常にリードしてきたブランド「エグザス」を復活させ、7月に第1号店として「エグザス 西九条」（大阪府大阪市）、10月には「エグザス 奏の杜」（千葉県習志野市）をオープンしました。最新のフィットネスマシンやプログラムがご好評です。

両店は、「エグザス スポーツスポット」として、「その街に、こころとカラダの快適空間」をブランドコンセプトにリ・ブランドし、その時代に求められるフィットネスクラブ、そして、お客様の日常にスポーツがとけこむ居心地の良いスポーツスポットを目指し、様々な目的に応じたトレーニングでサポートしています。

コナミスポーツクラブは気軽にスポーツを楽しめる提案を続け、皆様のトータル健康パートナーとして在り続けます。

ゲーミング&システム事業



『SYNKROS (シンクロス)』 「リゾート・ワールド・ビミニ」で導入決定

リゾート施設運営大手のゲンティン・アメリカ社がカリブ海のバハマ・北ビミニ島で運営する「リゾート・ワールド・ビミニ」へのKONAMIのカジノ・マネジメン

ト・システム『SYNKROS』導入が決定しました。カジノ・マネジメン・システムは、カジノ施設に設置されたスロットマシンの情報や顧客情報、会計等の管理をリアルタイムで行うことができるシステムです。このシステムで蓄積された情報を分析することで、会計管理や安全管理、経営判断、顧客サービスの提供等、幅広い目的に利用することができます。

KONAMIは、『SYNKROS』のさらなる技術革新を目指し、カジノオペレーターがよりスムーズな施設運営を行えるよう、日々改善を重ねて開発しています。

KONAMIは今後も、世界の市場で培ってきた商品力で、多様化する市場の期待にお応えし、業界のトップカンパニーを目指していきます。

アミューズメント事業



「クイズマジックアカデミー」最強王者決定に向けて 「QMAジャパンツアー 2017」開幕

KONAMIは、アーケードゲーム『クイズマジックアカデミー THE WORLD EVOLVE (ザ ワールド エボルブ)』で行うeスポーツ全国大会「QMAジャパンツアー 2017」を開催しています。本大会は、お客様やお店が主催する大会をKONAMIが応援するユーザー主体の形式で、全国のアミューズメント施設で700回以上の開催を予定しています。大学生以下を対象とした大会「ヤングウィザーズカップ」等、様々な特色を持った大会に参加する幅広い年齢層の皆様を応援し、2018年春の最終決戦に向けて、各大会を盛り上げていきます。

KONAMIは「QMAジャパンツアー 2017」により、プレイするだけでなく観戦しても楽しい「クイズマジックアカデミー」の魅力をより多くのお客様にお伝えするとともに、お客様とアミューズメント施設のコミュニケーションを一層活性化していきます。

KONAMIのeスポーツへの取り組み

人気コンテンツのさらなる発展に向けて

ゲームをスポーツ競技として捉えるeスポーツは、米国やアジア等を中心に盛り上がりを見せており、大会の観客や視聴者数はリアルなメジャースポーツに匹敵する規模へ成長を続けています。KONAMIでは「ウイニングイレブン」シリーズの世界選手権をはじめ、2003年からは「遊戯王オフィシャルカードゲーム」の世界選手権「Yu-Gi-Oh! World Championship」を開催しているほか、国内では2016年より「実況パワフルプロ野球」シリーズの日本選手権を展開しています。また、家庭用ゲームだけでなく、「クイズマジックアカデミー」等のアーケードゲームでもeスポーツ大会を開催し、高まるeスポーツ人気に伝えることで国内での発展に貢献しています。

8月に開幕したKONAMI野球コンテンツのナンバー

ワンを決めるeスポーツ日本選手権「パワプロチャンピオンシップス2017」のパワプロ ゲームソフト部門とプロスピA部門は、一般社団法人日本野球機構（NPB）の公認大会として開催しています。この取り組みは、野球ファンの拡大・活性化という、KONAMIとNPB双方の目的が一致したことにより、実現しました。

また、「ウイニングイレブン」シリーズでも、ナンバーワンを決めるeスポーツ世界選手権「PES LEAGUE WORLD TOUR 2018」を欧州サッカーの統括団体であるUEFA（欧州サッカー連盟）と協力し、UEFA Champions Leagueの公式大会として実施することとなりました。

KONAMIは今後もこうした取り組みを通じて、引き続きeスポーツを盛り上げていきますのでご期待ください。



©高橋和希 / スタジオ・ダイス / 集英社・テレビ東京・NAS
©Konami Digital Entertainment

「Yu-Gi-Oh! World Championship 2017」の様子



一般社団法人日本野球機構承認 データ提供：共同通信デジタル ©Konami Digital Entertainment

「パワプロチャンピオンシップス2017」の様子

KONAMIコンテンツの新たな展開



ANUBIS ZONE OF THE ENDERS : MVRs



ラブプラス EVERY

KONAMIは創業時から今日に至るまで様々なコンテンツを世の中に生み出し、時代に合わせて新しい技術とともに新しい遊びをお客様にお届けしてきました。現在も、より多くのお客様に楽しんでいただくため、人気コンテンツにVR等の新しい技術をミックスさせるなど新たな挑戦を重ね、日々商品開発を行っています。

「東京ゲームショー2017」では、2009年に発売し、社会現象にもなった「ラブプラス」シリーズ最新作となるモバイルゲーム『ラブプラス EVERY』と、2003年の登場以降、圧倒的なビジュアル、サウンド、ストーリーテリングでロボットアクションのゲーム史に金字塔を打ち立てた『ANUBIS ZONE OF THE ENDERS』のVR、4K対応

リマスター版『ANUBIS ZONE OF THE ENDERS : MVRs (アヌビス ゾーン・オブ・エンダース マーズ)』を出展し、多くの方々からの非常に大きな反響がありました。

そのほか、恋愛シミュレーションゲームとして多くの世代に愛された「ときめきメモリアル」シリーズの新展開となる『ときめきアイドル』の配信を予定しており、家庭用ゲームでは、「ボンバーマン」シリーズの最新作『スーパーボンバーマン R(アール)』(海外名『Super Bomberman R』)を3月より好評発売中です。

今後もKONAMIはコンテンツの新たな可能性を引き出すことで、お客様に長く愛され続けるコンテンツ展開を目指していきます。

会社概要 (2017年9月30日現在)

商号 コナミホールディングス株式会社
英文商号 KONAMI HOLDINGS CORPORATION
本店 〒107-8323
東京都港区赤坂九丁目7番2号
TEL (03) 5770-0573
FAX (03) 5412-3300

創業 1969年 (昭和44年) 3月21日
設立 1973年 (昭和48年) 3月19日
資本金 47,398百万円
従業員数 4,678名 (連結)
ホームページ <https://www.konami.com>

株式の状況 (2017年9月30日現在)

授權株式数: 450,000,000株
発行済株式総数: 143,500,000株 (うち自己株式8,265,166株)
株主数: 30,384名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	21,071	15.58
一般財団法人上野財団	16,750	12.39
コウツキホールディング	15,700	11.61
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	10,123	7.49
コウツキキャピタル株式会社	7,048	5.21
資産管理サービス信託銀行株式会社 (証券投資信託口)	2,631	1.95
CHASE MANHATTAN BANK GTS CLIENTS ACCOUNT ESCROW	2,417	1.79
株式会社三井住友銀行	2,017	1.49
STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	1,953	1.44
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223	1,604	1.19

(注) 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月開催
基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
および特別口座の 三井住友信託銀行株式会社
口座管理機関

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先 ☎ 0120-782-031
ホームページURL <http://www.smtb.jp/personal/agency>
公告の方法 当社のホームページに掲載する
<https://www.konami.com>

【単元未満株式の買取または買増請求について】

所有される株式のうち、単元未満 (100株未満) の株式につきましては、株式市場での売買取扱ができません、株主総会での議決権もございません。当社では、このようなご不便を解消するために、単元未満株式の「買取」または「買増」を請求できる制度を実施しています。詳細につきましては右記までお問い合わせください。

一般口座をご利用の株主様	口座のある証券会社
口座をお持ちでない株主様 (特別口座の株主様)	三井住友信託銀行 証券代行部 ☎ 0120-782-031

